

【報告】：唐人町通りの道路美装化に向けた検討について

- 現在、検討を進めている唐人町通りの道路美装化の事業化に向けては、これまでの地域との対話の中で、様々なニーズやアイデアを頂いており、道路空間だけでなく、沿道空間や周辺地域等も含めて、引き続き、継続的な提案や実践による検証の繰返しを行い、機運醸成を図ることが必要。
- また、今年度より、周辺の民有地の活用の一環として、古町地区における「一町一寺」の路地や寺社・町屋跡にある駐車場等を、一時的に通り抜け・滞留可能な空間として地域に開放する実験を行っている。
- 今後も、「①公共地(道路等)」と「②民有地(駐車場等)」の両空間の活用により、持続的かつ連鎖的な賑わい・町並みづくりに向けた実証実験等の実施を行いながら、唐人町通りに相応しい道路・沿道空間、周辺地域等のあり方や維持管理の方法等を検討する。

【①公共地の活用】：唐人町通り道路美装化

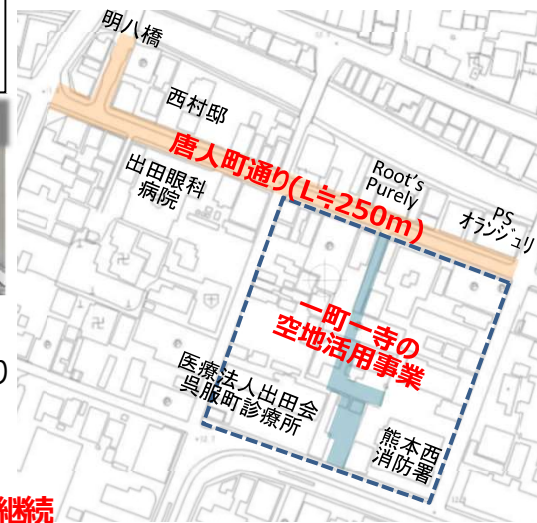
R3年度より検討に着手、これまで地域住民や沿線の建物所有者等を対象としたWSや勉強会を実施中

WS (R3.12月(第1回))、R4.4月(第2回)、R4.10月(第3回))



WS等における主な検討内容

- ・道路空間や道路附属物のデザイン、・安全安心な空間づくり
- ・沿道空間(道路に面する軒先等)の利活用策
- ・長時間滞在したくなるベンチや樹木の設置 等



【②民有地の活用】：一町一寺の空地活用

R4年度より、唐人町通りと合わせた、一町一寺の町割りの性格や特性等を活かした空間活用の取組みを検証中

実験第一弾 (R4.5.21)



ロジの通り抜けや滞在等を体験

実験第二弾 (R4.11.12)



ロジを楽しむ・使うことを体験

今後も継続実施し、将来的な地域コミュニティのあり方等を検証

R5年3～4月頃に社会実験を予定。R5年度以降も、地域との対話等を継続

【報告】：夜間景観実証実験(ライトスケープ・キャラバン)の実施について

- 「熊本市光のMP」(R3年3月策定)に基づき、R3年度から、市民協働で魅力ある夜間景観の形成に取り組む実証実験「夜間景観実証実験」を始動している(R3年度実績：計8件)。
- R4年度も引き続き、市内各地にて地域のまちづくり活動に合わせた照明演出を支援すると同時に、夜間景観づくりのノウハウ等も提供しながら、民間主導での取組を促していく。

〈R4年度(～11月まで)の実績〉

- 【9月24日(土)】：白川河川敷(白川大夜市(白川緑の区間)に合わせて、護岸や樹木をライトアップ)
- 【10月22日(土)】：立田プレイパーク(「身近な森の音楽会」に合わせて、木々やツリーハウスのライトアップ)
- 【10月29日(土)】：川尻船着き場・本立寺(「お寺deフェスタ」に合わせて地域資源をライトアップ)
- 【11月23日(水)】：寂心の大楠(地域主体のお話会と音楽祭に合わせた大楠のライトアップ)



白川河川敷



立田プレイパーク



川尻船着き場



寂心の大楠